ふるさとの魅力再発見－にしわき歴史探訪 87

西脇市郷土資料館（西脇）

▼問合せ　郷土資料館（☎23-5992）

西脇市郷土資料館は「郷土の織物とくらしの資料館」として、昭和59年4月に開館しました。

展示室には約2万年前の石器をはじめ市内各地で出土した弥生土器などさまざまな時代の遺物が並びます。播州織の発展に貢献した「飛田安兵衛翁記徳碑」の拓本や織物資料からは播州織発展の歴史を学べます。戦前・戦後に使われていた生活道具や懐かしい民具もあり、当時の暮らしの知恵に触れられます。収蔵庫には、古文書や考古資料などを保管しています。館内を見て、西脇の歴史を身近に感じてみませんか。

「にしわき歴史探訪」は今回が最終回です。令和元年からこれまでご愛読いただきありがとうございました。


播州織の工場を再現展示



考古資料の展示風景



みんなでまちづくり―市民の皆さんのまちづくり活動―

地産地消でつながる地域の輪

～市民提案型まちづくり事業採択団体「HAPPY TABLE」の紹介～

HAPPY（ハッピー）　TABLE（テーブル）は、地域の食材や生産者の思いに触れながら、世代を超えて交流できる場づくりに取り組んでいます。「地産地消」をテーマに、田植えや地元食材を使用した朝食イベントを開催。食や暮らしについて考えるきっかけを届けています。


田植えの様子

12月12日（土）には、童子山公園で「HAPPY TABLE FESTA」を開催（雨天時は27日に延期）。羽釜ごはんや市内飲食店の料理が楽しめるほか、地域農家による野菜販売、子どもたちがみそ汁作りに挑戦する「こどもクッキング」も行います。


朝食イベント

食を通じて交流の輪を広げ、人がゆるやかにつながるコミュニティづくりや、地域の魅力発信に取り組んでいます。

西脇の自然 633

バン

クイナ科



水辺の草むらなどに生息する鳥です。池では草むらから出てきて水草の上を歩いたり、水面を泳ぐ姿を見ることができます。大きさはハトほどで、長い足指で水草の上を歩きます。成長すると、くちばしから額にかけて赤く硬い額板（がくばん）が現れるのも特徴です。

写真は、狭い水路の草むらから周囲を警戒しながら出てきたところです。

かつては市内でもよく見られましたが、マコモやジュンサイ、ガガブタなどの水草が茂る池が減り、近年は見かける機会が少なくなっています。

自然界には、特定の環境でしか生きられない生き物が数多くいます。身近な自然を守ることが、さまざまな生き物のすみかを守ることにつながります。

【西脇市動植物生態調査研究グループ】

心のスケッチ 212

▶執筆　人権教育課（市役所内線 4012）



人権週間～少しだけ心を向けてみませんか？～

「少しだけ心を向けてみる。まずは、あなたの身近な人から。」これは、法務省が人権週間を紹介するショート動画のメッセージです。

12月10日は国連が定めた「人権デー」です。日本では12月４日から10日までを「人権週間」と定め、全国で人権について考える活動が行われています。西脇市でも街頭啓発や「市民じんけんセミナー」（詳しくは23ページ）を開催し、市民の皆さんと共に人権について考える機会を設けています。

法務省は近年「『誰か』のことじゃない。」を人権啓発のキャッチコピーに掲げています。新聞やテレビ、インターネットで人権の問題を見聞きしたとき、「自分には関係のないこと」「遠い場所で起きていること」と捉えてしまうことがあります。また、「人権」という言葉に、難しく堅い印象を持ったりする人もいるでしょう。しかし、人権は誰もが生まれながらに持つ、自分らしく幸せに生きるための大切な権利です。

日常生活の中で、何気ない言葉に傷ついたり、知らないうちに誰かを傷つけてしまったりした経験はありませんか。「自分だったらどう感じるだろう」と相手の立場で考えてみることが、お互いを理解し合う第一歩です。

人権週間をきっかけに、まずは家族や友人、職場の仲間など身近な人に少しだけ心を向けてみませんか。一人一人の違いや思いを知ろうとすることが、お互いを大切にすることにつながります。

200回以上にわたる毎月の連載は今回が最終回です。これまでご愛読いただきありがとうございました。

市長からの手紙

― 西脇を元気に‼ ―

155

ふるさと納税を、まちの力に



西脇市長　片山象三

11月号の広報でふるさと納税を特集しました。今年度も多くの皆さまからふるさと納税を通じて温かいご支援をいただいています。４月から10月までの寄附額は８億円を超え、寄附件数も２万件を超えました。昨年度は10月の制度改正前に寄附が集中し過去最高でした。今年度は同時期比較で下回るものの、一昨年度の約1・4倍に増えています。

ふるさと納税は、返礼品を通じて地元事業者を応援し、市内経済を支える力にもつながります。そして、何より、ふるさと納税をきっかけに西脇市を知っていただけることをうれしく思います。全国から寄せられる温かい応援に、心から感謝申し上げます。

寄附金は、市民の暮らしを支えるさまざまな事業に活用しています。子育て支援では、育児用品を届ける「はぴいく定期便」や、子どもたちの教育環境の充実に取り組んでいます。また、「健幸運動教室Ni-Co」などの健康づくりや福祉の充実、文化・スポーツ振興にも活用しています。さらに、西脇病院の応援、ＪＲ加古川線の利用促進、地域産業の振興にも役立てています。寄附者の思いを大切に受け止め、暮らしを支えるまちづくりに生かします。

市外にお住まいのご家族やご友人にも、ぜひ西脇市のふるさと納税をご紹介ください。皆さまからの応援を力に、元気な西脇市を共につくってまいりましょう。


播州織や黒田庄和牛など、魅力あふれる返礼品がそろっています